KINDAI UNIVERSITY

G 館 SIS 教室 1～5
利用手引書

第 1.2 版

2023 年 10 月 13 日

KUDOS 学生センター

制定・改訂履歴

版 数	制改訂年月日	改訂内容	作成者	確認者	承認者
第 1.0 版	2021 年 3 月 18 日	初版	光本		
第 1.1 版	2021 年 3 月 31 日	写真の追加(教室概要)	光本		
第 1.2 版	2023 年 10 月 13 日	部署名変更 【総合情報システム部】⇒ 【KUDOS 学生センター】	徳田		

目 次

1. 教室概要 1

1.1. 教室レイアウト 2

2. コンピューターの利用方法 4

2.1. コンピューターの利用 4
2.1.1. 利用開始(サインイン) 4
2.1.2. 利用終了(サインアウト) 5
2.1.3. アプリケーションの利用 6
2.1.3.1. デスクトップアイコンよりアプリケーションを起動する方法 9
2.1.3.2. スタートボタンよりアプリケーションの起動する方法 10
2.1.4. IME(Input Method Editor)による言語の変更 12
2.1.5. 利用できるドライブ・ファイルサーバー 13
2.1.5.1. 各ドライブ(外部記憶メディア)の利用方法 14
2.1.5.2. ファイルサーバーの利用方法 15
2.1.6. 音声の利用(ヘッドセット貸出) 16
2.1.7. 教員用 PC について 16

2.2. ドキュメントシステムの利用 17
2.2.1. KUDOS Print に対応した複合機の利用 17
2.2.2. KUDOS Print に対応している複合機の一覧 18
2.2.3. スキャナーの利用 18

3. 授業支援システム 概要 19

3.1. 画像・音声提示装置による各機能 21
3.1.1. 機器の配置図 21
3.1.1.1. 操作パネル・入力パネルの説明 23
3.1.1.2. マイクの種類 24
3.1.2. システム電源の入れ方 25
3.1.2.1. プロジェクターの電源の入れ方 25
3.1.3. 教室を統合する 26
3.1.4. マイクを使用する 26
3.1.5. 教員 PC の映像・音声を出力する 27
3.1.6. 持込端末の HDMI 端子を使用し、映像・音声を出力する 28
3.1.7. 書画を使用し、映像を出力する 29
3.1.8. Miracast を使用し、映像・音声を出力する 30
3.1.9. システム電源の切り方 31

4. 補足資料 32

1. 教室概要

SIS 教室 1～5(G 館 3 階)

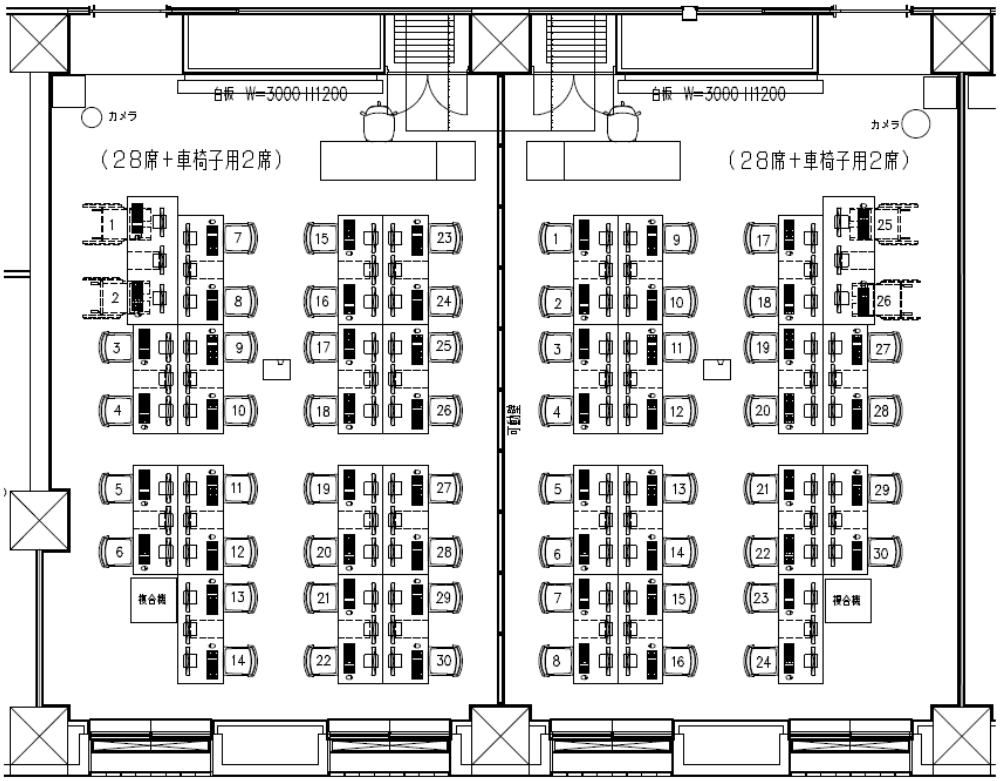
●PC 185 台設置(SIS 教室 1　教員機:1 台、学生機:30 台)
(SIS 教室 2　教員機:1 台、学生機:30 台)
(SIS 教室 3　教員機:1 台、学生機:30 台)
(SIS 教室 4　教員機:1 台、学生機:30 台)
(SIS 教室 5　教員機:1 台、学生機:60 台)

G 館　SIS1～5 は、地理情報統合分析システムや統計解析ソフトウェア、外国語発音検定ソフト、Adobe Creative Cloud など、専門分野に特化したソフトウェアが導入されています。

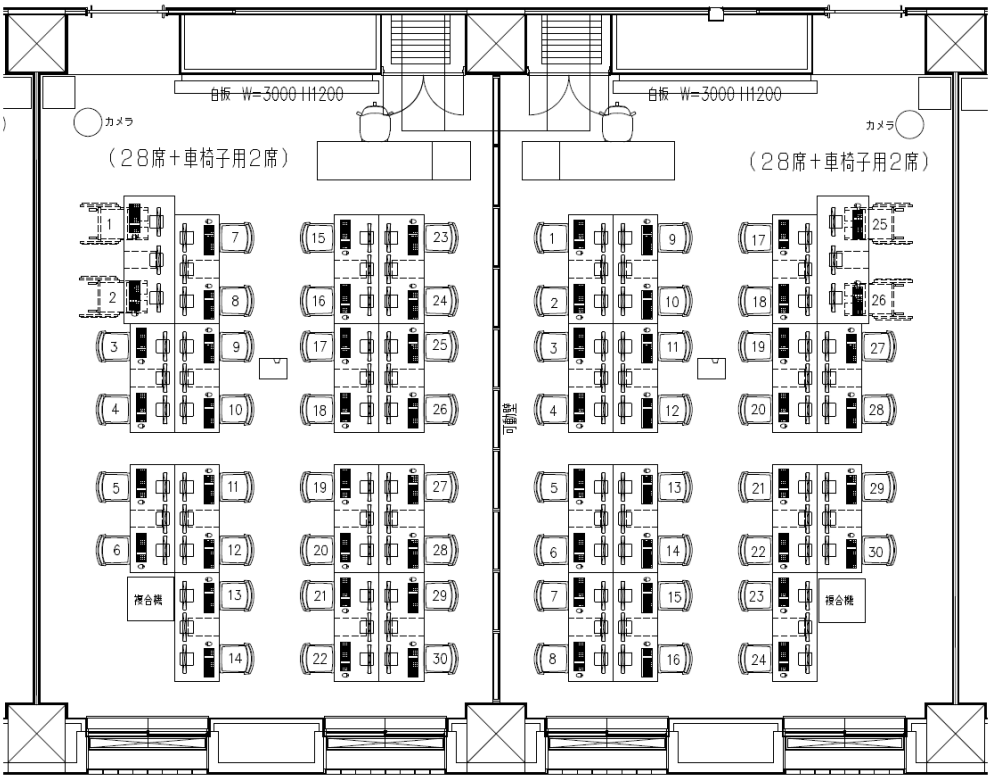
また、PC 教室と CALL システムを融合させたハイブリッド型の実習室となっております。

語学教育、情報教育や PC を利用した講義の効率化をするとともに、実社会で要求されるグローバル人材育成が可能なサービスを提供して、より高度で効果性の高い教育環境を実現しています。

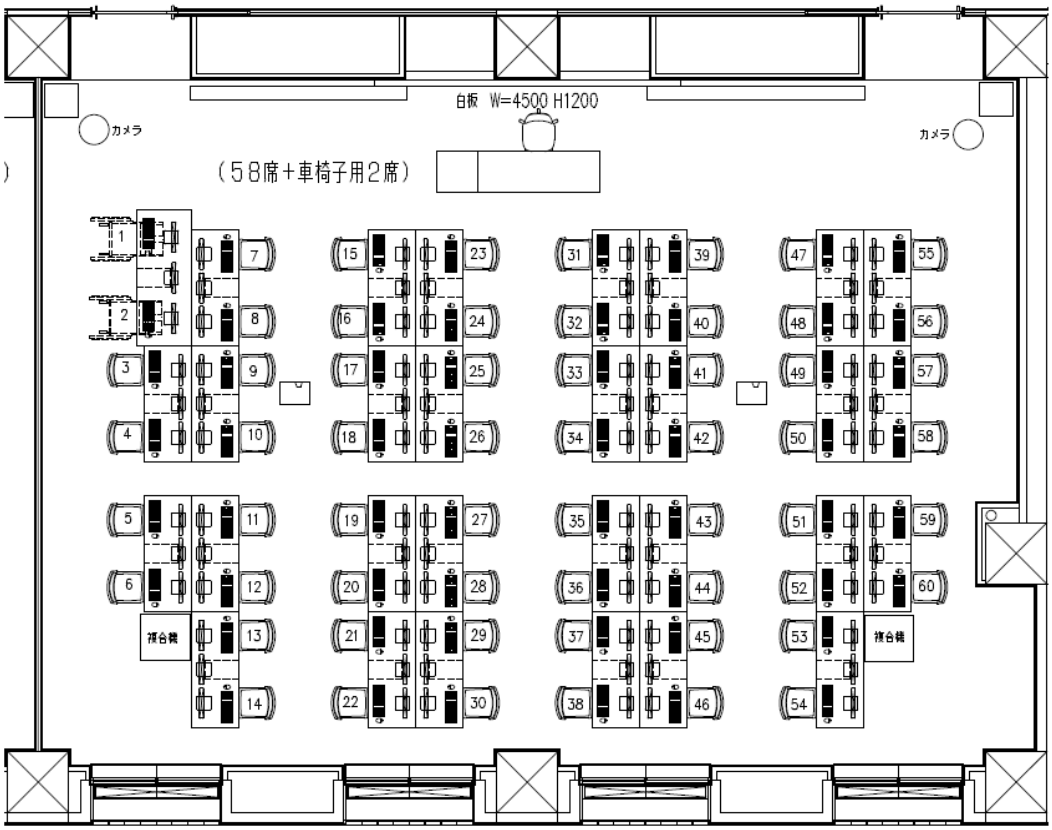
1.1.　教室レイアウト



SIS 教室 1～2(各 30 名)



SIS 教室 3～4(各 30 名)



SIS 教室 5(60 名)

2. コンピューターの利用方法

2.1.　コンピューターの利用

2.1.1. 利用開始(サインイン)

PC を利用するにはサインインする必要があります。ユーザーID とパスワードを準備してください。

①　キーボードで何かキーを押します。

②　サインイン先に「KUDOS－AD」と表示されていることを確認し、[ユーザー名]ボックスに「ユーザーID」を、[パスワード]ボックスに「パスワード」を、入力し、 ボタンをクリックします。

③　サインインすると以下のようなデスクトップ環境を利用することができます。

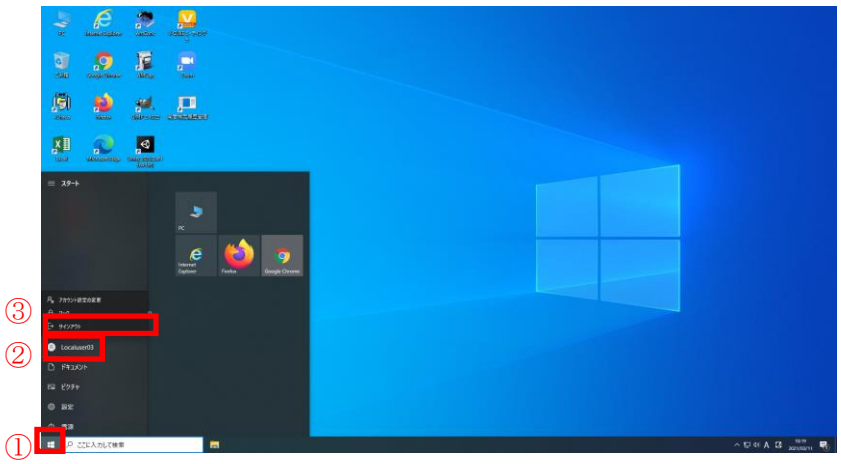
デスクトップ画像

注意

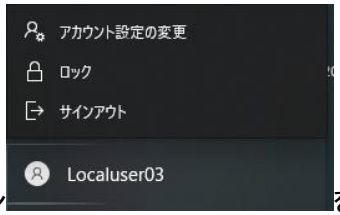
ユーザー名とパスワードの入力を 20 回以上間違えるとロックがかかります。
数分間サインインできなくなりますので注意してください。

2.1.2. 利用終了(サインアウト)

利用後はサインアウトします。(電源を OFF にしないでください。)



① [スタート]ボタン をクリックします。

② 左列のユーザーアイコン 

をクリックします。

③ [サインアウト]ボタン

をクリックします。

注意 コンピューター利用後は「シャットダウン」せずに「サインアウト」をしてください。

デスクトップに保存されたファイルは、PC を再起動すると消去されます。

ドキュメントに保存されたファイルも同様に PC を再起動すると消去されます。

必要なデータは、Z ドライブ(全学ファイルサーバー)、または Google ドライブや KUDOS BASKET などに保存したことを今一度ご確認ください。

詳細は、「2.1.5 利用できるドライブ・ファイルサーバー」を参照してください。

なお、Z ドライブは 1 人あたり 500MB以内です(2021 年 3 月 18 日現在)。

2.1.3. アプリケーションの利用

アプリケーションを起動するには以下の 2 通りの方法があります。

- ◆ デスクトップのアイコンをダブルクリック
- ◆ スタートメニューをクリック

利用できるアプリケーションの一覧は以下の通りです。

表 2.1-1 アプリケーション一覧

項番	ソフトウェア名	ソフトウェア概要	バージョン	教室別インストール状況		備考
				SIS1～4	SIS5	
1	Adobe Acrobat Reader	PDF 閲覧	21.001.20142	○	○	
2	AMCAP	動画キャプチャー	9.23-300.6	○	○	
3	AntConc	コンコーダンス	3.5.8	○	○	
4	Blender	統合型 3DCG	2.92	○	○	
5	DocuWorksViewerLight9	ビューアー	9.0.7	○	○	
6	FireFox	Web ブラウザ	86.0	○	○	
7	GIMP	画像編集処理	2.10.22	○	○	
8	Google Chrome	Web ブラウザ	89.0.4389.72	○	○	
9	Internet Explorer	Web ブラウザ	11	○	○	
10	Jw_cad	2D 図面設計	8.22e	○	○	
11	Lhaca デラックス版	圧縮解凍	1.24	○	○	
12	MANDARA	地理情報分析支援	10	○	○	
13	MS 中国語 IME	文字入力補助		○	○	
14	MS 韓国語 IME	文字入力補助		○	○	
15	Natural Reader	英語読み上げ	16	○	○	
16	Python	プログラミング言語	3.9.2	○	○	
17	RealPlayer	マルチメディアプレーヤ	20.0.3	○	○	
18	Tera Pad	テキストエディタ	1.09	○	○	
19	Unity	プログラミング	2020.2.7f1	○	○	
20	Visual Basic	開発環境	2019	○	○	
21	Visual Studio C#	開発環境	2019	○	○	
22	Visual Studio C++	開発環境	2019	○	○	
23	VisualStudioCommunity	統合開発環境	2019	○	○	
24	Zoom	ミーティング	5.5.2	○	○	

項番	ソフトウェア名	ソフトウェア概要	バージョン	教室別インストール状況		備考
				SIS1～4	SIS5	
25	Windows Essentials		2012	○	○	
26	ムービーメーカー	マルチメディアプレーヤ	2012	○	○	
27	発音検定		1.34	○	○	
28	発音検定履歴管理	教員機のみ		○	○	
29	秀丸エディタ	テキストエディタ	8.96	○	○	
30	ArcGIS Desktop	地理・位置情報統合環境	10.8.1	○	○	
31	AutoCAD	CAD	2018	○	○	
32	SPSS Statistics	統計解析・データマイニング	26	○	○	
33	Microsoft Office Professional Plus	オフィス	2019	○	○	
34	Adobe Creative Cloud		5.3.2.471		○	
35	Adobe Acrobat Distiller	PDF 変換	21.001.20135		○	
36	Adobe Acrobat DC	PDF 閲覧	21.001.20135		○	
37	Adobe After Effects	映像表現	17.7		○	
38	Adobe Animate	アニメーション作成	21.0.3		○	
39	Adobe Audition	オーディオ編集	13.0.13		○	
40	Adobe Bridge	クリエイティブアセット管理	11.0.1		○	
41	Adobe Character Animator	モーションキャプチャーアニメーション	3.5		○	
42	Adobe Dimension	2D、3D 合成	3.4.1		○	
43	Adobe Dreamweaver	Web サイトデザイン	21.1		○	
44	Adobe Illustrator	ビデオ制作・編集	25.2		○	
45	Adobe Incopy	文章作成・編集	16.1		○	
46	Adobe InDesign	動画編集	16.1		○	
47	Adobe Lightroom Classic		10.1		○	
48	Adobe MediaEncoder		14.9		○	
49	Adobe PhotoShop	フォトレタッチ	22.2.0.183		○	
50	Adobe Prelude		9.0.2		○	
51	Adobe Premiere Pro		14.9		○	
52	Adobe Premiere Rush		1.5.50		○	

管理系ソフトウェア

項番	ソフトウェア名	ソフトウェア概要	バージョン	教室別インストール状況		備考
				SIS1～4	SIS5	
53	KudosPrintPersonal Counter		1.4.0	○	○	
54	KudosPrint Popup Messenger		1.4.0	○	○	
55	CaLabo EX	CALL	9.10	○	○	
56	SEP	ウイルス対策	14.2	○	○	
57	V-CUBE	ミーティング	5.7.11.6398	○	○	教員機のみ
58	WinDVD		11.5	○	○	教員機のみ
59	瞬快	環境保護	12.0	○	○	

※一覧は、2021 年 3 月 18 日現在のものです。

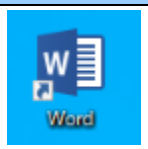
最新の状況については、KUDOS WEB「ソフトウェア・ハードウェア検索」よりご確認ください。

→ https://kudos.kindai.ac.jp/guide/sh

2.1.3.1. デスクトップアイコンよりアプリケーションを起動する方法

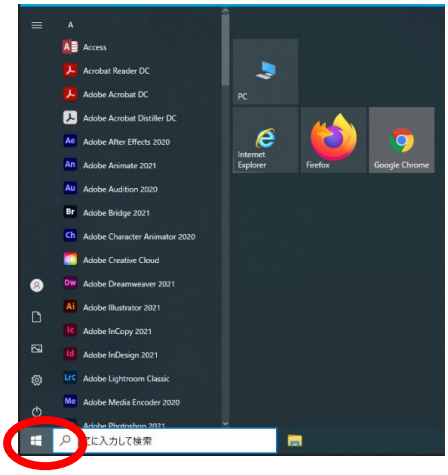
デスクトップアイコンの該当のアプリケーションをダブルクリックします。

表 2.1-2 デスクトップアイコン一覧

アイコン	ソフト（用途）	アイコン	ソフト(用途)
	文書作成ソフト Microsoft Word を起動します		表計算ソフト Microsoft Excel を起動します
	プレゼンテーション作成ソフト Microsoft PowerPoint を起動します		データベースソフト Microsoft Access を起動します
	インターネットブラウザ Firefox を起動します		インターネットブラウザ Google Chrome を起動します
	インターネットブラウザ InternetExplorer を起動します		ファイル圧縮・解凍ソフト ＋Lhaca です ファイルをアイコンにドラッグアンドドロップで使用します

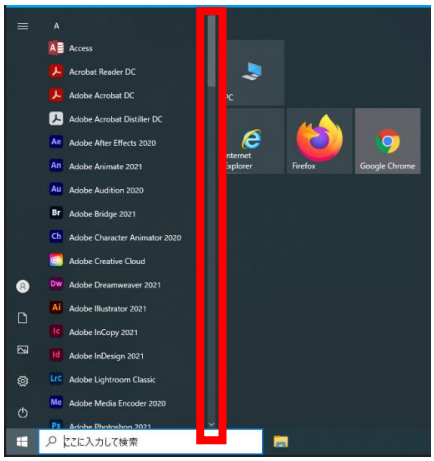
2.1.3.2. スタートボタンよりアプリケーションの起動する方法

[スタート]ボタンより「アプリケーション名」の順に選択し、目的のアプリケーション名をクリックします。



ポイント

プログラム一覧に目的のアプリケーションが見つからない場合には、スクロールバーをスクロールします。また、フォルダー はクリックして開きます。



◆ Google Chrome のブックマーク バーから起動できるサイト

◆ ブックマーク バー一覧

名前	URL
Criterion	https://criterion.ets.org/Criterion/Default.aspx?ReturnUrl=%2fcriterion
Word Engine	https://www.wordengine.jp/
TED.com	https://www.ted.com/
エキサイト オンライン辞書	https://www.excite.co.jp/world/
RhymeZone	https://www.rhymezone.com/
soundsofspeech.uiowa.edu	https://soundsofspeech.uiowa.edu/home
英辞郎 on The WEB	https://www.alc.co.jp/
VOCABPROFILE ENGLISH	https://www.lextutor.ca/vp/eng/
Dictionary.com	https://www.dictionary.com/

2.1.4.　IME（Input Method Editor）による言語の変更

IME には以下の言語がインストールされています

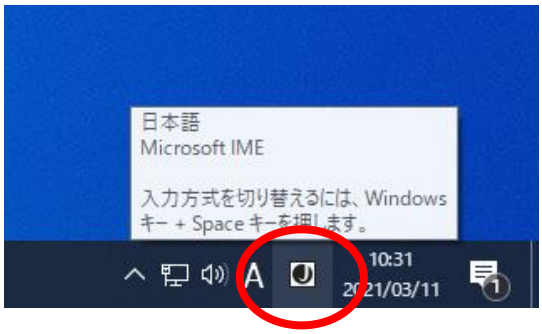
・日本語

・韓国語

・中国語（簡体字、中国語）

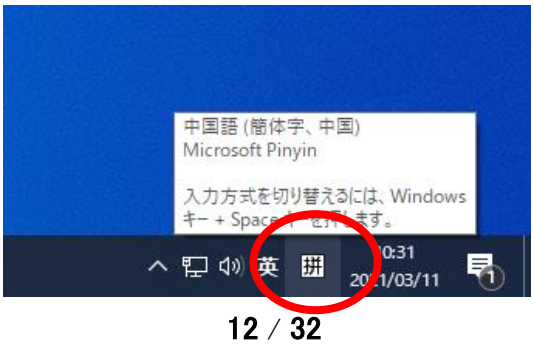
以下の手順で言語の切り替えを行います。

①　タスクトレイの IME アイコンをクリックします。



②　インストールされている言語が表示されます。使用したい言語を選択します。

③　選択した言語が表示されます。



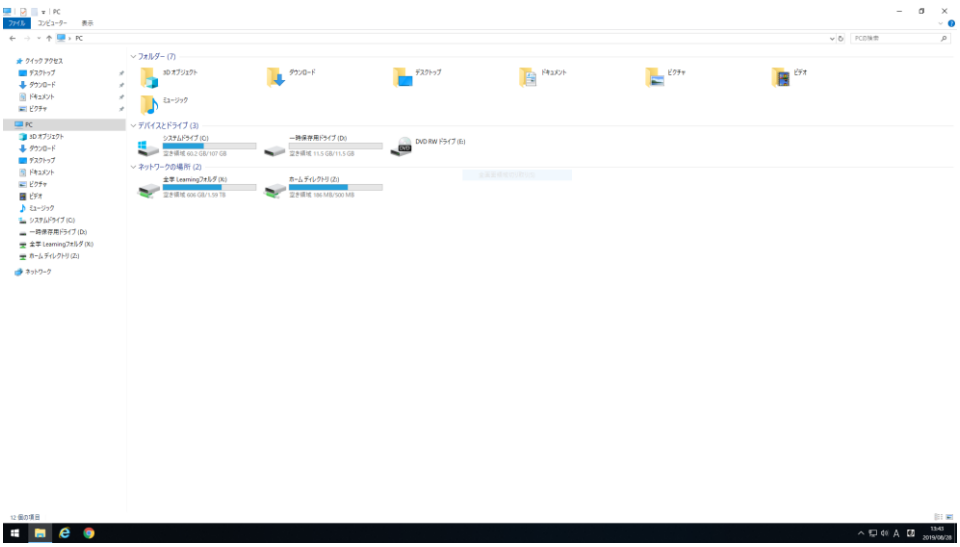
2.1.5.　利用できるドライブ・ファイルサーバー

PC へは以下の各ドライブが割り当てられています。ファイルサーバーの利用は X ドライブと Z ドライブです。

表 2.1-3 ドライブ一覧

ドライブ	説明
C	OS やアプリケーションのためのシステムドライブです。 再起動すると、初期状態に戻るため、保存データは全て破棄されます。
D	一時領域です。再起動を行ってもデータは消えませんが毎週月曜日早朝にすべて削除します。
E	CD-R/RW、DVD±R/RW、が利用できる DVD ライターです。
X	全学ファイルサーバーの共有領域 Learning フォルダーです。 教材提示・レポート提出などに利用できます。 利用に関しては教室授業担当員に確認してください。
Z	全学ファイルサーバーの個人用ホームフォルダーです。 必要なファイルは、ここに保存します。(500MB です。2021 年 3 月 18 日現在)

利用可能なドライブやファイルサーバーを確認するには、サインイン後、[スタート]ボタンより[コンピューター(PC)]をクリックしてください。



注意

C ドライブ(デスクトップ・マイドキュメントフォルダーも含まれます)に保存されたファイルは PC を再起動すると消去されます。

C ドライブに保存されたデータに関しては保証いたしかねますので注意してください。

教室内の PC で作成したファイルなどのデータは全学ファイルサーバー(Z:)へ保存してください。

2.1.5.1.　各ドライブ（外部記憶メディア）の利用方法

注意

USB メモリ、SD カード、CD-R などの可搬型記憶装置の使用は、ウイルス混入・感染及び紛失のリスクが高いため、個人情報を含む機密性の高いデータの取り扱いは禁止します。

情報機器間のデータのやり取りを行う場合、2 段階認証（多要素認証）設定済みアカウントにて、Google ドライブや KUDOS　BASKET 等を利用してください。

Google ドライブの利用については、

下記、利用マニュアルの（29 ページ目：7. Google ドライブの利用）を参照してください。

https://kudos.kindai.ac.jp/cms/pdf/manual_3_12.pdf

KUDOS BASKET の利用は、下記、利用マニュアルを参照してください。

https://kudos.kindai.ac.jp/cms/pdf/manual_80_2.pdf

周辺機器利用の詳細については、

KUDOS WEB「情報システム利用ガイドライン（8 条 10 項）」を参照してください。

https://kudos.kindai.ac.jp/cms/pdf/manual_3_14.pdf

USB メモリの利用

USB フラッシュメモリなど USB 機器が利用できます。

USB メモリを USB ポートに差し込みます。

「コンピューター」の「デバイスとドライブ」に「USB ドライブ」が表示され、USB メモリが利用できます。

USB メモリの利用を終了して PC から取り外す場合は、次の手順で操作します。

USB メモリを参照しているウィンドウをすべて終了します。

タスクバー右端のタスクトレイ表示部分の をクリックします。

「●●の取り出し」をクリックします。

※「●●」には USB メモリの名称が入ります。

コンピューター本体から USB メモリを取り外します

2.1.5.2. ファイルサーバーの利用方法

PC にサインインすると教育系の学生及び申請された教職員のみ、共通で学内ファイルサーバーが利用できます。

ホームディレクトリー（Z：）

全学ファイルサーバーにある個人用ディレクトリーです。

- ファイルを保存するには
  1. 任意のアプリケーションから保存するには、保存コマンドより[保存場所]に「Z ドライブ」を選択します。
  2. 保存元ファイルのフォルダー画面をデスクトップに表示している場合には、保存したいファイルを選択して右クリックし、ショートカットメニューより「Z：ドライブ」をクリックします。

- ファイルを開くには
  1. ［スタート］メニューより[エクスプローラー]をクリックしてし、左ツリーペインの「Z ドライブ」→該当ファイルの順にダブルクリックします。
  3. 開くファイルのフォルダー画面をデスクトップに表示している場合には、保存したいファイルを選択して右クリックし、ショートカット一覧より「Z:ドライブ」をクリックします。

- 使用容量または空き容量を確認するには
  1.［スタート］メニューより[コンピューター]をクリックしてコンピューターを開き、「Z ドライブ」アイコンにて右クリックし、「プロパティ」を選択します。

  ※利用可能な容量は 500MB です（2021 年 3 月 18 日現在）

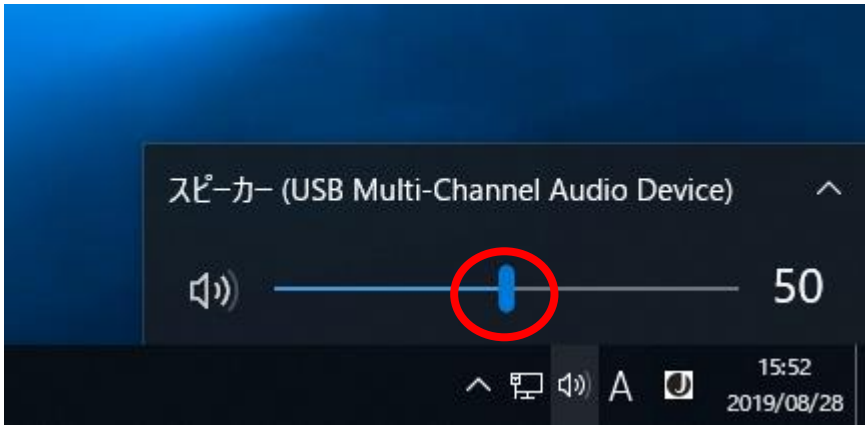
全学 Learning フォルダー（X：）

授業に関する教材の教員からの提示や、学生からのレポート提出等に利用できます。

ご利用に関しては教室授業担当員に確認してください。

2.1.6.　音声の利用（ヘッドセット貸出）

PC から出力される音を聞く場合、またはマイクを利用するには、ステレオヘッドセットを利用します。
音量の調整は、タスクバーの「スピーカー」ボタンをクリックし、スライダーにて音量調整します。
また、ヘッドセットのボリュームを動かすことでヘッドセットの音量を変えることができます。



2.1.7.　教員用 PC について

教員用 PC は教員用権限のあるユーザーのみサインインできます。
PC を利用後は「シャットダウン」をせずに「サインアウト」をしてください。

注意

サインアウト前には必要なデータが全学ファイルサーバーのホームディレクトリーまたは外部記憶メディアに保存したことを確認してください。

2.2. ドキュメントシステムの利用

教室には、KUDOS Print に対応した複合機が設置されています。
授業中はポイントを消費せずに印刷できますが、自由利用時ではポイントを消費して印刷する必要があります。
スキャナー機能も利用可能です。

2.2.1. KUDOS Print に対応した複合機の利用

KUDOS Print に対応した複合機は時間帯別に以下のモードが設定されています。

No	モード名称	説明
1	ポイントモード	自由利用となっている教室に設定されているモードです。 ポイントモードでは印刷を行うとプリント実績値が加算されます。 プリント実績値がプリント上限値に達している場合や、プリント上限値を超えるような印刷を行おうとした場合、そのままでは印刷できませんのでポイントを別途購入する必要があります。 プリント実績値とは:「どれだけ印刷したか」 を示す値です。 プリント上限値とは:「どれだけ印刷できるか」を示す値です。
2	授業モード	授業中の教室に設定されているモードです。 授業モードでは印刷を行ってもプリント実績値が加算されることはありません。 また、プリント実績値がプリント上限値を超過していても印刷できます。

2.2.2.　KUDOS Print に対応している複合機の一覧

KUDOS Print　に対応している複合機の一覧は以下のとおりとなります。

表 2.2-2 複合機一覧

教室名	装置名	ホスト名	プリンター表示名
SIS 教室 1	複合機	MFG03SIS1001	G 館 SIS1 教室　1 号機(vmprsv11 上)
			G 館_SIS1 教室　1 号機(予備)(vmprsv12 上)
SIS 教室 2	複合機	MFG03SIS2001	G 館_SIS2 教室　1 号機(vmprsv12 上)
			G 館_SIS2 教室　1 号機(予備)(vmprsv11 上)
SIS 教室 3	複合機	MFG03SIS3001	G 館_SIS3 教室　1 号機(vmprsv11 上)
			G 館_SIS3 教室　1 号機(予備)(vmprsv12 上)
SIS 教室 4	複合機	MFG03SIS4001	G 館_SIS4 教室　1 号機(vmprsv12 上)
			G 館_SIS4 教室　1 号機(予備)(vmprsv11 上)
SIS 教室 5	複合機	MFG03SIS5001	G 館_SIS5 教室　1 号機(vmprsv11 上)
			G 館_SIS5 教室　1 号機(予備)(vmprsv12 上)
		MFG03SIS5002	G 館_SIS5 教室　2 号機(vmprsv12 上)
			G 館_SIS5 教室　2 号機(予備)(vmprsv11 上)

※プリントサーバーは 2 台構成となっており、通常利用しているプリンタサーバーに不具合が発生した場合、印刷ができなくなります。そのため 2 台目のプリントサーバー配下にある表示名が（予備）となっているプリンターを利用し印刷を行ってください。

ポイント

教室の複合機はポイント管理方式(KUDOS Print)に対応しています。
KUDOS Print の利用については、KUDOS Web の KUDOS Print 説明ページより「KUDOS Print(PC 教室)利用マニュアル」を参照してください。
https://kudos.kindai.ac.jp/service/print/pcroom

2.2.3.　スキャナーの利用

ポイント

KUDOS Print に対応した複合機のスキャナー利用については、
KUDOS Web の KUDOS Print 説明ページより「KUDOS Print(PC 教室)利用マニュアル」を参照してください。
https://kudos.kindai.ac.jp/service/print/pcroom

3. 授業支援システム　概要

授業支援システムは、以下により構成されます。

1)　**画像・音声提示装置による各機能**

教卓上の「操作パネル」を操作することで、学習者に教材となる画像や音声を提示することができます。「表 3-1　画像・音声提示装置による機能一覧」の各機能を利用できます。

2)　**CALL ソフトウェアによる各機能**

教員 PC にセットアップされた授業支援ソフトウェアの制御画面を操作することで、出席管理や学習者 PC の操作禁止など「表 3-2　CALL ソフトウェア（CaLabo EX）による各機能一覧」、の各機能を利用できます。

また、CALL ソフトウェアとして、CaLabo EX を導入しております。

表 3-1　画像・音声提示装置による機能一覧

機能名称		機能詳細
1	掲示モニター画像送出	教材画像を掲示モニターに送出します。
2	プロジェクター画像送出	教材画像を液晶プロジェクターに送出します。
3	音声送出、音量調整	送出教材音声やマイク音声(ハンドマイク、ピンマイク)をスピーカーに出力します。また、音量調整も可能です。

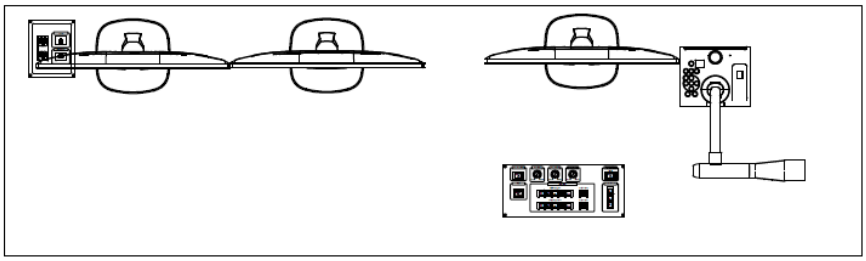
表 3-2 CALL ソフトウェア（CaLaboEX）による各機能一覧

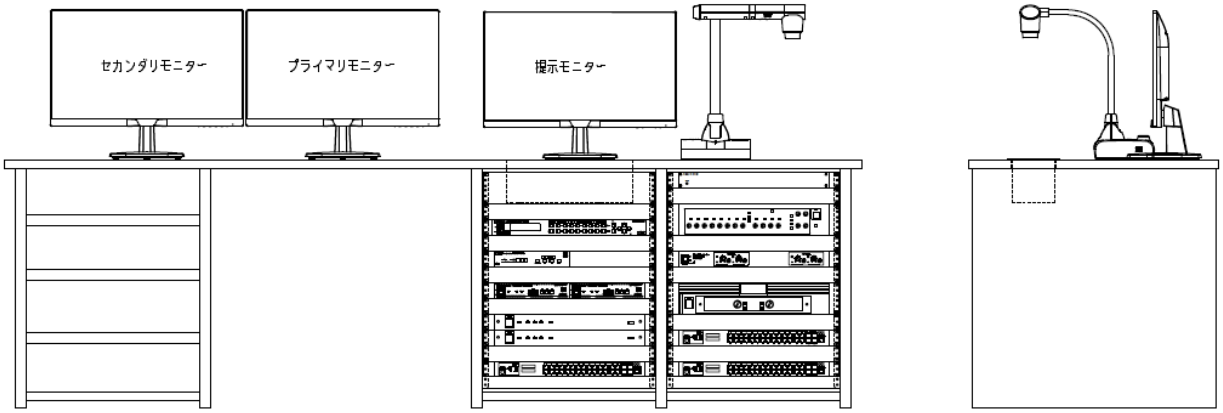
機能名称		機能詳細
1	ALL CALL	学習者全員のヘッドセットに先生マイク音声を聞かせます
2	メッセージ 送信	学習者と教員の間でテキストベースのメッセージ送受信や設問・解答を行います
3	操作ロック	学習者が PC を操作できないよう、キーボードとマウス をロックします
4	ブラックアウト	学習者の画面が真っ黒になり、キーボードとマウスがロックします。
5	Web 禁止	学習者が開いていた Web サイトを閉じ、Web ブラウザを起動できなくします。
6	「呼」に応える	学習者からの「先生呼出」に応えます。
7	アプリ	指定したプログラムの一斉起動、ホワイトボードの使用などの各種アプリを起動します。
8	出席管理	授業に出席した学習者情報を出席データとして管理・保存します
9	授業準備	学生機の電源管理を行います。 「一斉電源 ON」「一斉電源 OFF」「一斉ログオン・ログオフ」など
10	モニタ	学習者の画面を教員機に表示します。
11	インカム	学習者と 1 対 1 で会話をしながら学習者の PC を遠隔で操作します
12	モデル	任意の学習者をモデルとして画像と音声を送出します
13	会話	学習者同士で会話を行います
14	グループワーク	学習者をグループに分け、グループ内の1名をリーダーとし、リーダーがグループ内の動作を制御して活動を進めます。
15	チャット	チャットボードを起動し、学習者どうしで文字のやりとりをさせます。 会話やグループワークと併用すると、ペアやグループ内でのやりとりになります。 併用せず、対象座席を選択せずに実行すると、クラス全員参加のチャットになります。
16	配布・回収・提出	課題となるファイルを配布・回収を行います。 また学習者からファイルを提出することも可能です。
17	ムービーテレコ	動画／音声ファイルを読み込み、シャドーイングや通訳練習をすることができます。 先生の制御で一斉に実行するか、学習者自身が操作して個々のペースで学習するか を選択できます。
18	教材提示	学習者画面に先生画面が表示され、ヘッドセットには選択した入力ソースの音声が流れます
19	画面受信	学習者の画面を、定常的にモニタし、評価などを残せるパネルが表示されます

各機能の詳細については、別紙「CaLaboEX 簡易マニュアル」を参照してください。

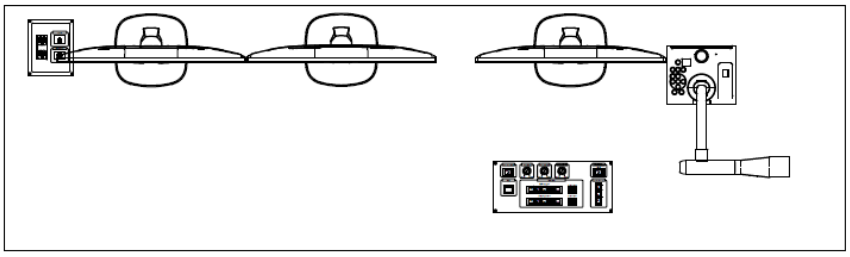
3.1.　画像・音声提示装置による各機能

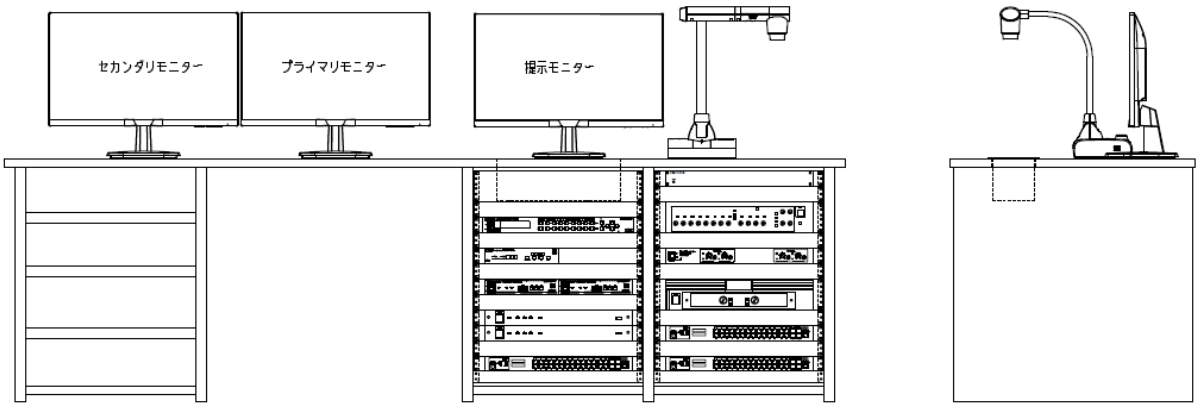
3.1.1.　機器の配置図



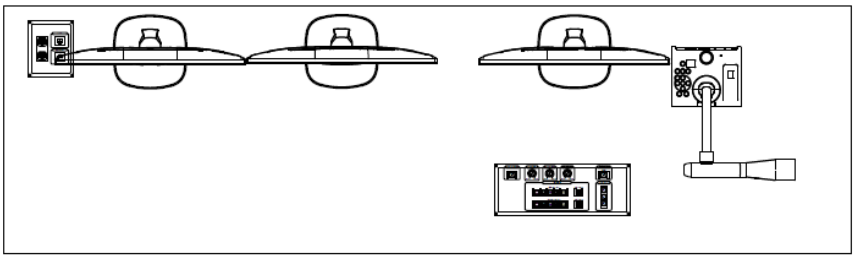


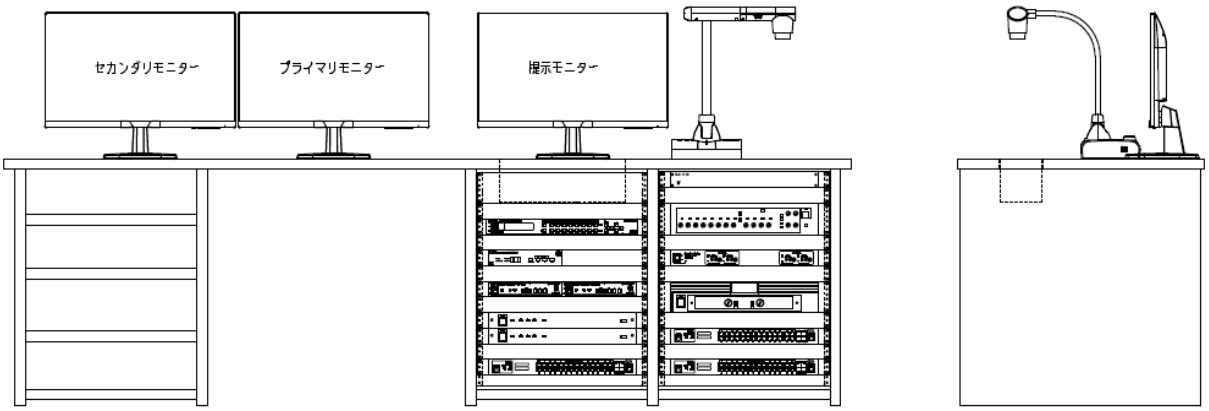
SIS 教室 1、3





SIS 教室 2,4

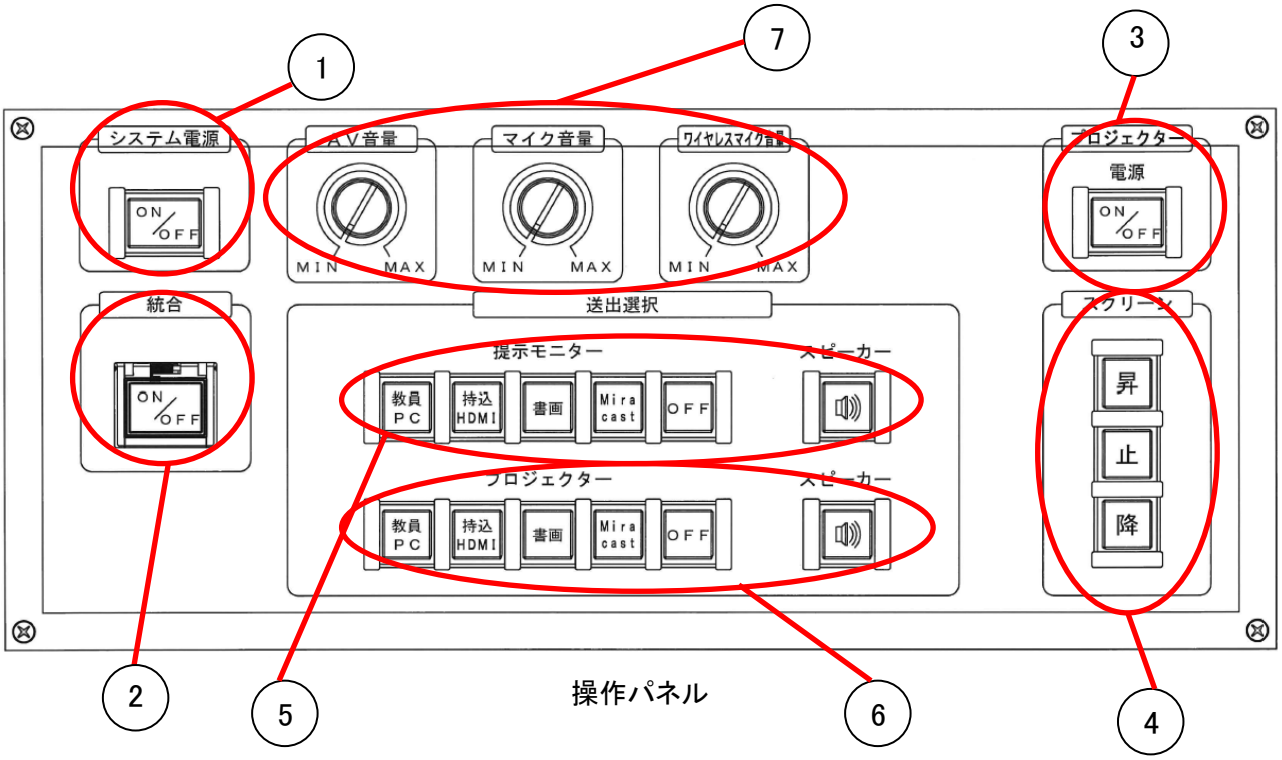




SIS 教室 5

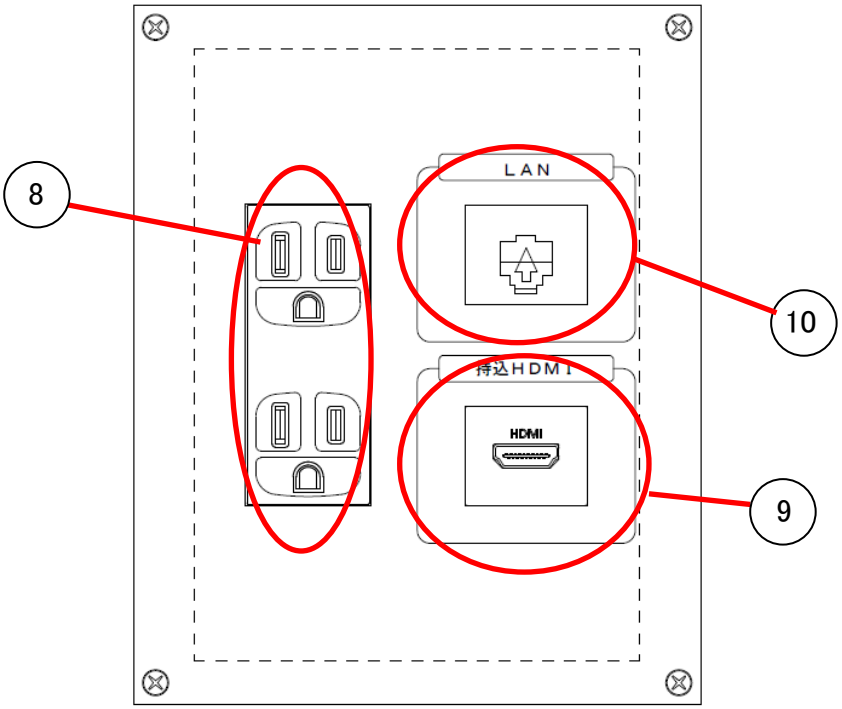
3.1.1.1. 操作パネル・入力パネルの説明

操作パネルは、以下で構成されています。



操作パネル

入力パネルは、以下で構成されています。



入力パネル

① システム電源
② 統合ボタン（SIS1、3）
統合使用中 LED（SIS2、4）
③ プロジェクター電源
④ スクリーンスイッチ
⑤ 提示モニター送出選択 （提示モニターに投影するためのソースを選択します）
提示モニターは別途電源を入れる必要はありません
⑥ プロジェクター送出選択 （プロジェクターへ投影するためのソースを選択します）
送出する場合は電源を入れてください
⑦ 音量調整
⑧ 100V 電源
⑨ 入力端子：HDMI(映像・音声)
⑩ 情報コンセント

3.1.1.2. マイクの種類

マイクは、ハンドマイク・ピンマイクの 2 種類をインフォメーションで貸し出します。
有線マイクは、教卓に備え付けてあります。

ハンドマイク

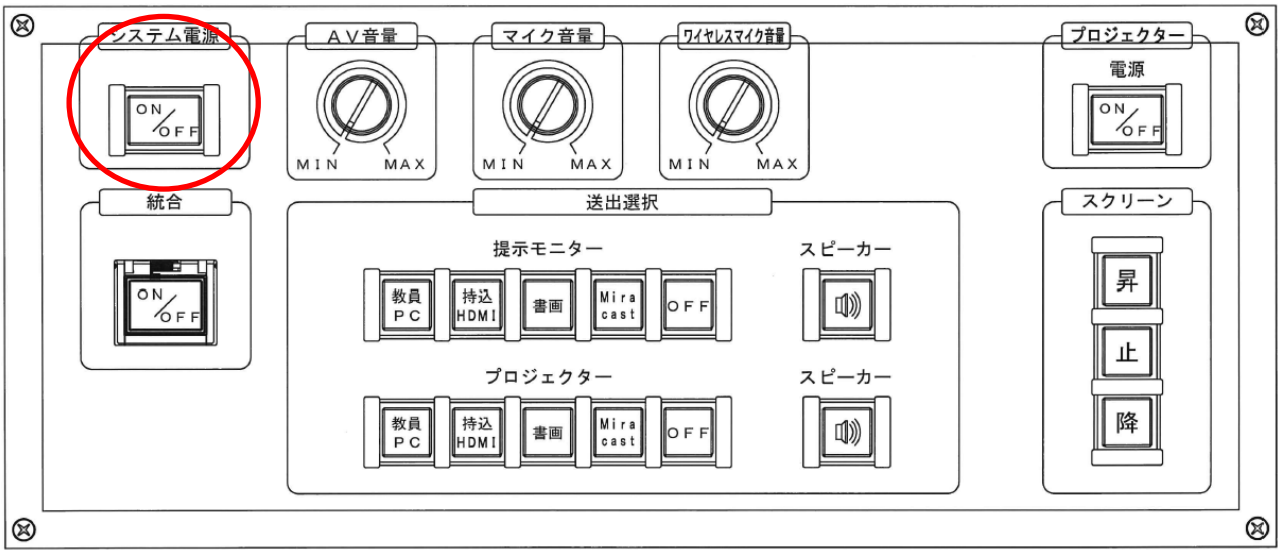
ピンマイク

有線マイク

3.1.2.　システム電源の入れ方

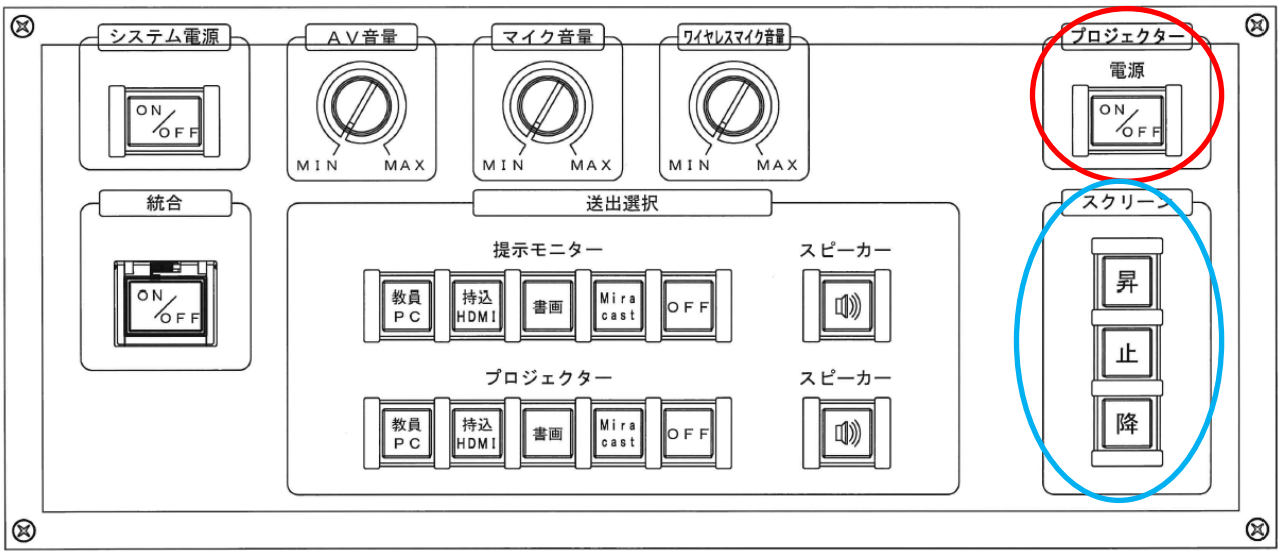
マイク、プロジェクターなどを利用するためには、システム電源を ON にしてください

1. 「システム電源」○のスイッチを押します
2. 約 1 秒後電源が立ち上がり○のランプが点灯します



3.1.2.1.　プロジェクターの電源の入れ方

1. 「プロジェクター電源」○のスイッチを押します
2. ○のランプが点灯しプロジェクターの電源が投入されます
   ※自動的にスクリーンが降下します
3. プロジェクターが起動し、スクリーンに映像が投影されます
4. スクリーンは○ボタンを押すことで昇降することができます



3.1.3.　教室を統合する

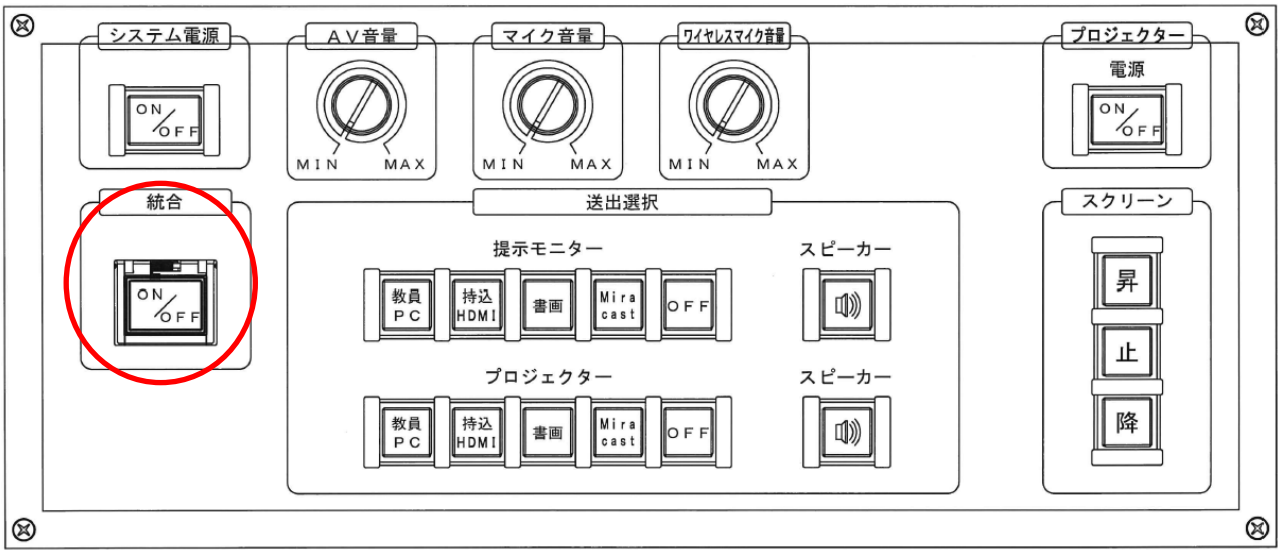
1.　操作パネルの統合スイッチを押します。

※SIS 教室 1～2 を統合可能とし、主操作卓は SIS 教室 1 となります。

※SIS 教室 3～4 を統合可能とし、主操作卓は SIS 教室 3 となります。

※SIS 教室 2、4 を単独利用されている場合は統合できません。

2.統合された教室の提示モニター、プロジェクターに主操作卓で送出ソースとして、選択された画像が投影されます。

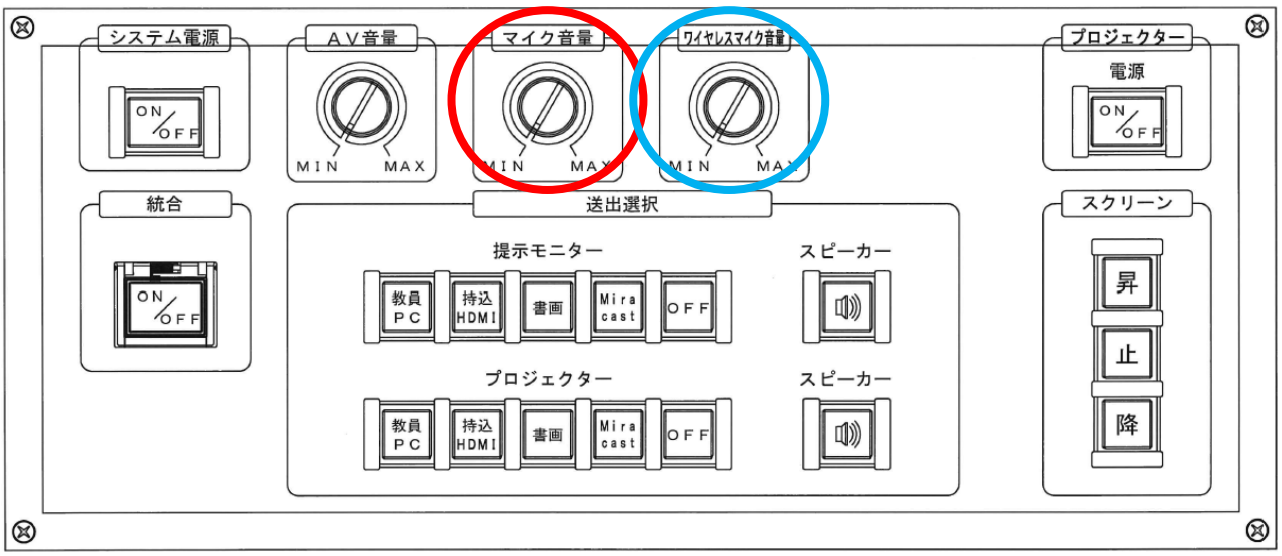


3.1.4.　マイクを使用する

1.　「システム電源」をONにすることで、有線マイク、ワイヤレスマイク(ピン型・ハンド型)で話すことができます

2.　有線マイクの音量調整は○を回します

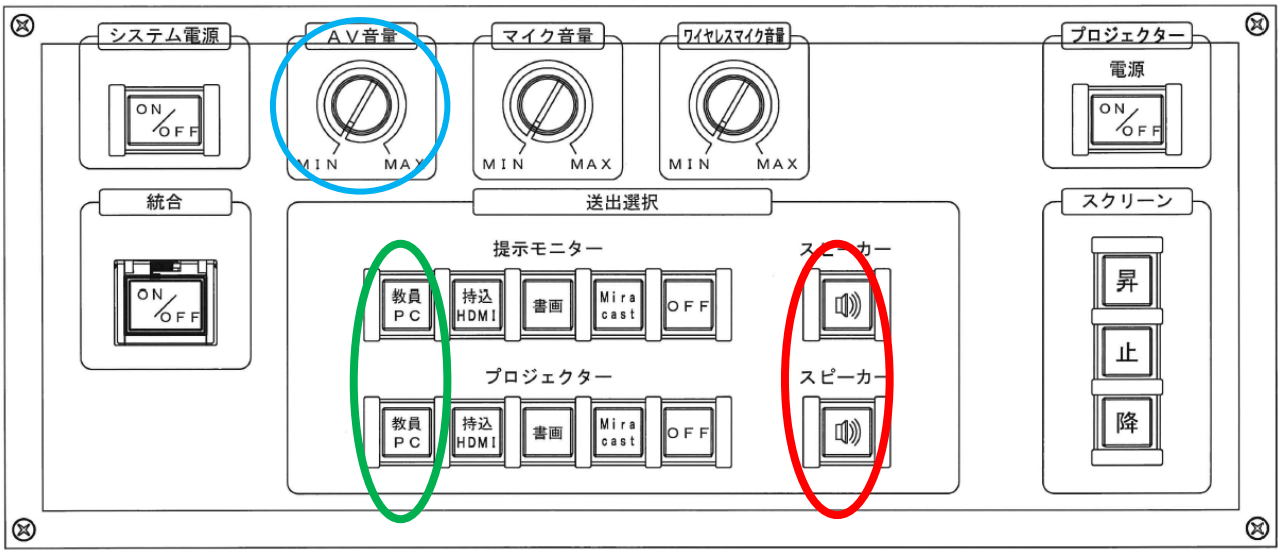
3.　ワイヤレスマイクの音量調整は○を回します



3.1.5. 教員 PC の映像・音声を出力する

1. 「操作パネル」の「提示モニター」や「プロジェクター」の「教員 PC」○を選択すると、提示モニターまたはプロジェクターに映像を出力します
2. スピーカーは○を ON にすると、教員 PC の音声が流れます

   注意：スピーカーはどちらか一方のみ ON にできます。
3. 音量調整は○を回します

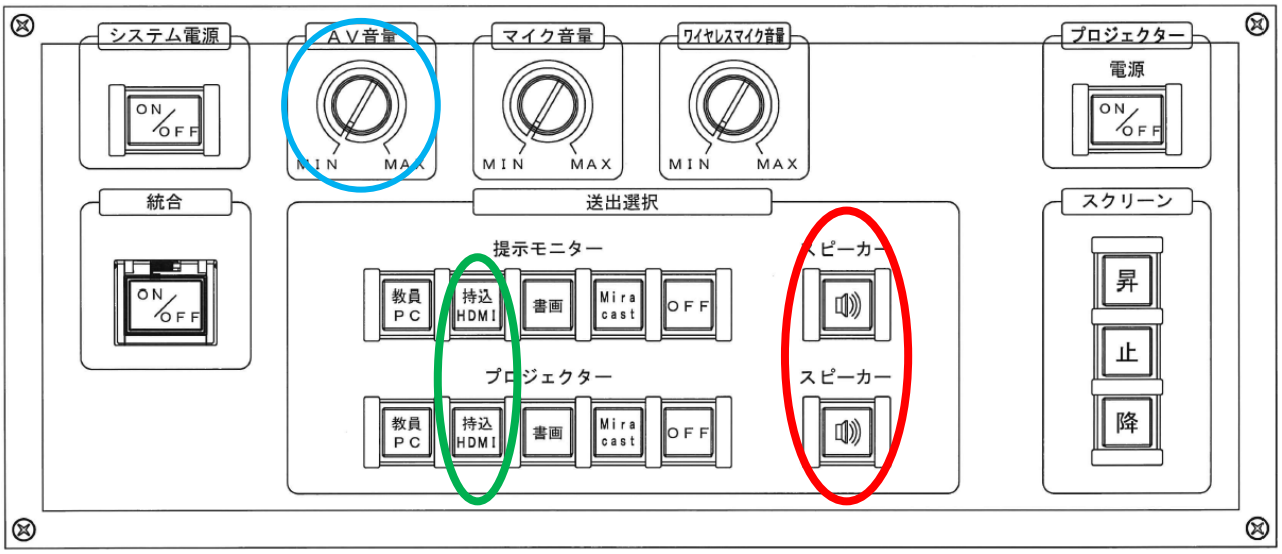


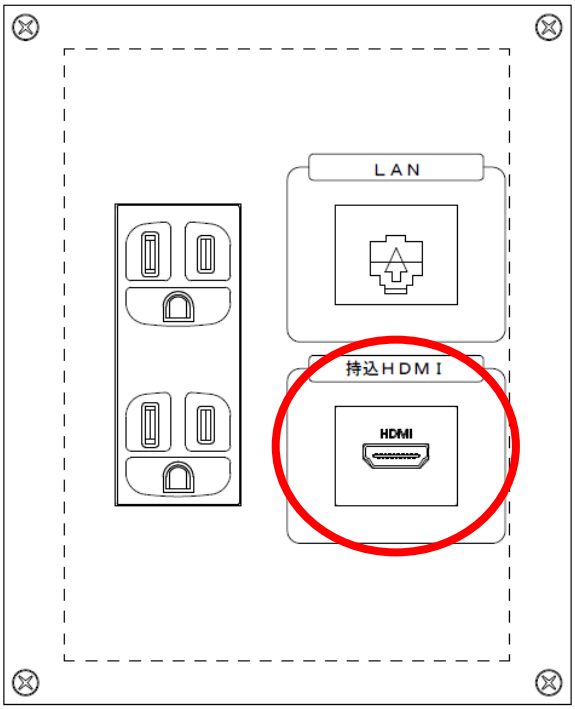
3.1.6. 持込端末の HDMI 端子を使用し、映像・音声を出力する

1. 「入力パネル」○の「持込 HDMI」に HDMI ケーブルを接続します
2. 「操作パネル」の「提示モニター」や「プロジェクター」で「持込 HDMI」○を選択すると、提示モニターまたはプロジェクターに映像を出力します
3. スピーカー○を ON にすると、「持込 HDMI」の音声が流れます

   注意：スピーカーはどちらか一方のみ ON にできます

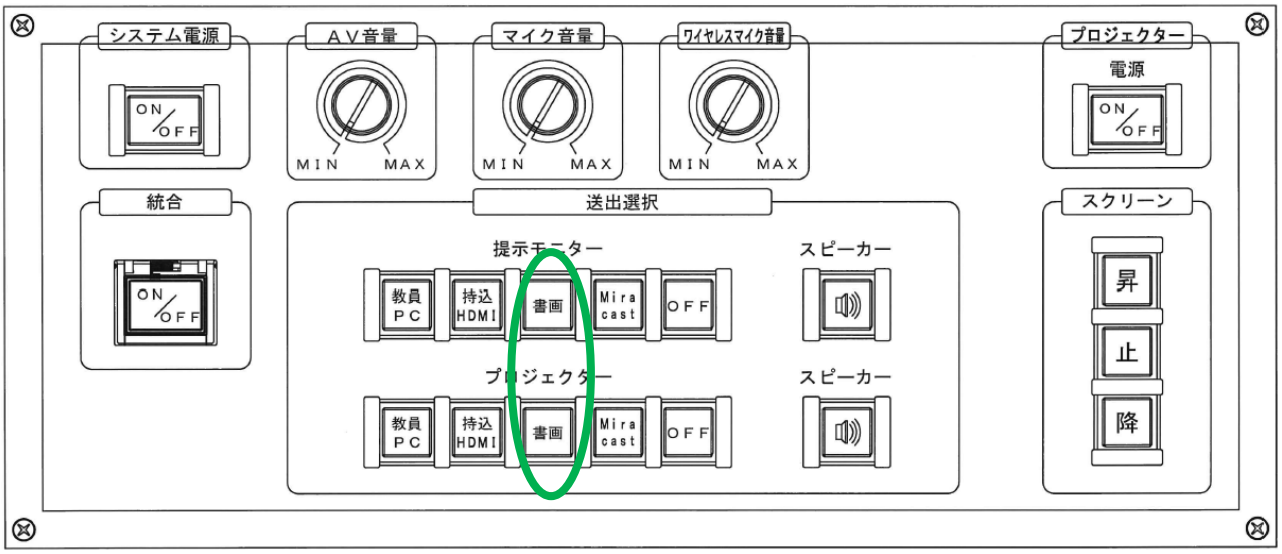
   音量調整は○を回します





3.1.7. 書画を使用し、映像を出力する

1. 書画カメラの電源を押し、電源を ON にします。
2. 「操作パネル」の「提示モニター」や「プロジェクター」で「書画」○を選択すると、提示モニターまたはプロジェクターに映像を出力します



3.1.8. Miracast を使用し、映像・音声を出力する

1. 「操作パネル」の「提示モニター」や「プロジェクター」で「Miracast」○を選択すると、提示モニターまたはプロジェクターに映像を出力します
2. 各機器の無線映像送出の手順に従って「Miracast」へ接続してください

   例：windows10 での接続方法

   「Windows」キー及び「K」キーを押します

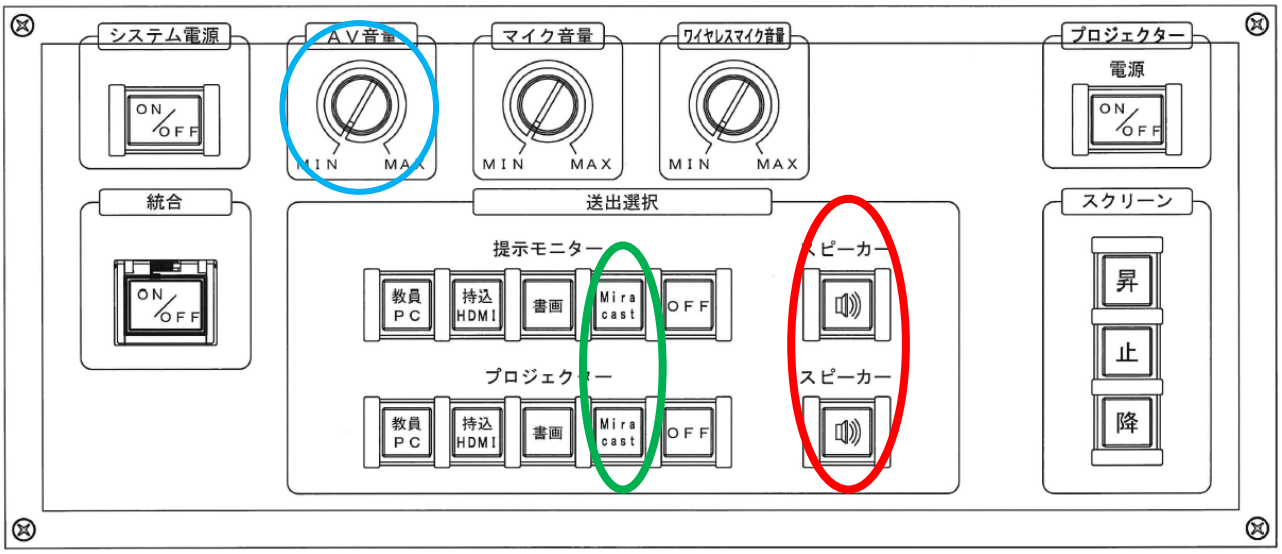
   「提示モニター」や「プロジェクター」に表示されている「デバイス名」と、

   同じ「デバイス名」をクリックします

   「接続試行中」から「接続済み」になると接続成功です
3. スピーカー○を ON にすると、「Miracast」の音声が流れます

   注意：スピーカーはどちらか一方のみ ON にできます。

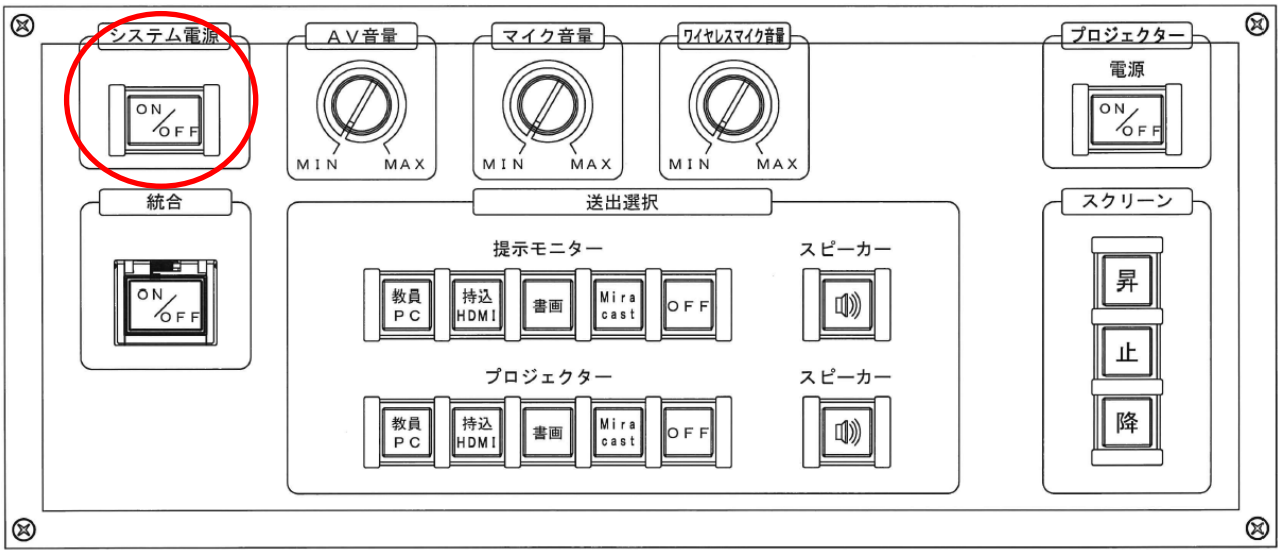
   音量調整は○を回します



3.1.9.　システム電源の切り方

授業終了時は、システム電源を OFF にしてください

1. 「システム電源」○のスイッチを押します
2. ○のランプが消灯します



4. 補足資料

種別		機種（型名） 詳細	画像
教員用端末（5台）	本体	HP ProDesk 600 G6 SF/CT　OS：Windows 10 Education CPU：Core i3-10100(4C/3.6GHz/6M)×1 メモリ：8GB DDR4 SDRAM SSD：512GB NVMe 対応　DVD ライター Blu-ray ドライブ	
授業支援システム（5式）	プロジェクター	Panasonic PT-VMZ60J （WXGA：6,000lm）	
	マイク	赤外線ワイヤレスマイク（ハンド型）　ATIR-T880 赤外線ワイヤレスマイク（ペンダント型）　ATIR-T850 有線マイク　JVC PS-1C51	
	操作パネル	特型	
	授業支援ソフト	CaLabo EX	－
学生用端末（180台）	本体	HP ProDesk 600 G6 SF/CT　OS：Windows 10 Education CPU：Core i3-10100(4C/3.6GHz/6M)×1 メモリ：8GB DDR4 SDRAM SSD：512GB NVMe 対応　DVD ライター	
複合機（6台）	カラー 複合機	ApeosPort-VII C4473 自動両面プリント機能、A3 カラー対応 電子ソート機能、オフセット出力機能	
	カラー スキャナー	A3 カラー対応、カラー・モノクロ自動認識 MIX サイズ対応、親展ボックス搭載	
貸出機器		HDMI ケーブル （2m） × 5	